No. 135 43 1. 15

市報 とおかまち

(昭和32年6月5日第3種郵便物認可) 定価一部 5円 発行 毎月 15日 発行所 十日町市役所

賀正

市長 村山謙吉
助役 小川彦一郎
収入役 高木佐五郎
市議会議長 樋口政太郎
市議会副議長 石坂正隆

市のようす

面積	211.44㎢
男	24,054
女	26,357
計	50,411
世帯数	10,345

(住民基本台帳人口)

都市計画を推進

市長 村山謙吉

あけましておめでとうございます。

明治百年を迎え市民の皆様とともに心を新たにして、市政発展のため努力をいたしたいと存じます。

昨年は国内景気も上むき、明るい正月でしたが、本年はきびしい国際経済の中で日本経済の前途を悲観的に見る人が多く、皆様と共にどんな困難にもうち克つ強い心構えを持ちたいと思います。

昨年県下はたび重なる災害に襲われましたが、幸い市内では好天と農家の皆様の努力により史上最高の豊作を記録、米の販売量も一昨年の二割増と十二万七千俵を実現しました。さらに三カ年計画で推進してきました三地区の農業構造改善事業、その他農業の近代化のための事業が続々と完成し、実り多い年でありました。

また連年成長を続けてきました織物業も協同組合を中心としたかたい団結と、業界の熱心な研究努力により生産額百七十億円を突破し躍進を続けております。

交通面におきましては待望の北越線が漸く十日町～六日町の通過路線も決定し用地買収にとりかゝるほか本年着工の段階になりました。

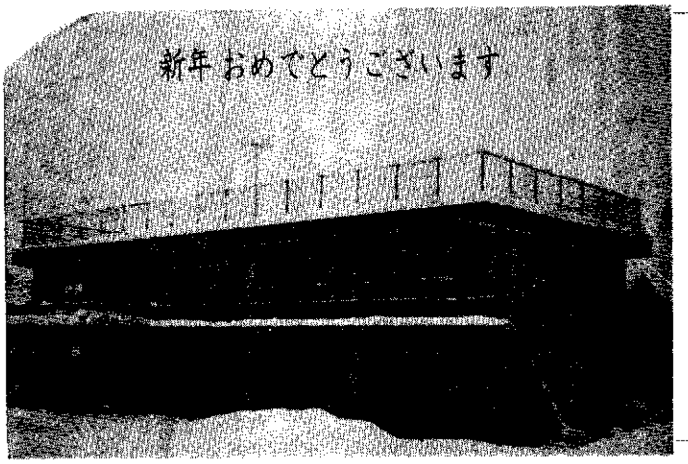
また国道一一七号線は本年十日町市内の舗装が完了しますので四日町～本町二丁目間の拡張を残すだけとなりました。国道二五二号、二五三号線もそれぞれ国、県の手により五ヵ年以内には立派な舗装道路が完成する予定であります。このような交通革命に伴い十日町市の商店街も近代化、大型化が要請されておりますので昨秋の広域商業診断を中心に商業行政を進めたいと考えております。

このほか本年は市庁舎の二年目にあたりその完成を急ぐと共に都市計画の推進、衛生センターの整備、市道の舗装、農、工、商業の構造改善、近代化の推進スキー場の建設、豪雪対策、住宅対策等、諸事業が山積されております。

現在市では新年度の予算編成を急いでおりますが、このような困難な環境にもかゝわらず市民生活向上のため積極的に市政に取組んで参りたいと存じますので、本年も変らぬご支援を賜わりますようお願い申しあげ、市政の発展と、市民の皆様のご繁栄とご多幸をお祈りし、新春のごあいさつといたします。

若人の広場

開館をまつ勤労青少年ホーム



産業都市基盤の整備

市議会議長 樋口政太郎

市民の皆さま明けましておめでとうございます。一九六八年の輝かしい新春を迎えて十日町市の発展と市民の皆さまのご健康を心からお祈り申し上げます顧みますに昨年は県内におきまして下越地方が不運にも二年連続の豪雨災害に見舞われ、各地に大きな被害を出しましたことは痛ましい限りでありました。

本市は幸わいこれといった災害もなく比較的穏やかな年越しとなりました。

市政も雪害対策の一環として計画された市街地の流雪溝施設の整備をはじめ、画期的な川治六箇、両中学本校の統合による南中寄宿舎建設、農業構造改善事業の完了、さらに仂く青少年のための勤労青少年ホーム建設など予定どおり順調に進められました。これひとえに市民の皆さまの深いご理解とご協力の賜ものと感謝申しあげますと共にまことにご同慶に絶えないところであります

業界におきましては主要産業の織物が懸念された返品も少なく、百七十億円の生産を記録し二百億円の大台に乗ることも近い将来ということで、関係者のたゆまざる研究と努力は敬服のほかございません。

商工業も消費ブームの影響で各業種ともかなりの伸びを示したといわれ、市統計による工業出荷額も百八十億円から二百億円を突破するという見通しであります。

一方農業は全国的な豊作から本市におきましても供米成績は二割増を記録したほか、養、畜産も予想以上の成績で恵まれた年でありました。さて本年は十日町市総合計画の第二年次に当り産業都市基盤の整備いわゆる魅力ある都市づくりを促進する年であります。

また昨年春から工業団地調査が進められ、工場団地造成計画が具体化されようとしていますが、私ども市議会は、今年もいっそう広い視野にたって市民の皆さまの意志を反映して、市勢発展のため研究、努力いたしますので、格別のご指導とごべんたつをお願い申しあげますと共に市民の皆さまのご繁栄とご健康をお祈りして年頭のごあいさつといたします。

統一的除雪体制へ

流雪溝の円滑な利用を

雪害対策施設として整備された流雪溝は昨年暮に試験通水を行い、現在除雪協議会の協力により統一的な流雪が行われていますが、本格的な降雪期を迎えてさらにスムーズな運営と事故のないようつぎのことに充分注意していただきますよう、ご理解、ご協力をお願い致します。

(1)屋根の雪おろしは地域ごとに申し合せ一せいに行ない流雪溝のフタは閉めておきましょう。

(2)決められた割当時間以外は流雪溝に雪を入れないこと。また雪以外の異物は投げ込まないようお願いします。

(3)除雪協議会役員の指示と伝達には必ず従ってください。

(4)下流町内の水あがりに注意をくばり流雪溝には大きな雪のかたまりは入れないよう。

(5)流雪溝は水量も多く流れも早いので幼児の転落事故のないよう注意してください。

初春を飾る出初式

昭和四十三年の初春を飾る恒例の消防出初式は、去る六日午前九時の点鐘を合図に十日町、川治地区消防団員約五百人を市役所前に集めて行われました。

まず村山市長が全団員の服装姿勢の検閲を行ったあと消防車二台によりきびきびした放水訓練が展開されました。このあと市中行進を行い、市民体育館で菅村消防長の講評、市長訓示などがあってめでたく行事を終わりました。

委員長に高橋氏

市選挙管理委員会では一月一日付でつぎのとおり委員長の交代を決めましたのでお知らせします。

新委員長 高橋拘造
旧委員長 斉木重義

公民館建設基金に寄付

一三会代表、根津征司さん二千五百円、青年会議所五万円をそれぞれ寄付されました。

保育所入所児童募集

昭和四十三年度保育所入所児童を次により募集します。

一、受付期間
一月二十五日から二月三日まで

二、提出書類
保育所入所申請書一通、父母祖父母、兄姉で給与所得のある方は、昭和四十二分源泉徴収票の写を必ず添付してください。

なお前年の納税が他の市町村の場合は市町村民税の税額証明書を添付してください。

三、提出先
十日町市役所内社会福祉事務所

四、申請用紙
市社会福祉事務所または各保育所に準備してありますからお申し出てください。

五 入所予定人員

	三才以上児	三才未満児	計
十日町保育所(市立)	八	二一	二九
高山保育所(市立)	〇	七	七
鐙島保育所(市立)	二四	一四	三八
北越保育園	〇	一七	一七
十日町幼児園	三〇	〇	三〇
合計	六二	五九	一二一

六、入所資格者
十日町市に住民登録してあって保育に欠ける児童

七、この募集以前に申請書を提出されてある方は、再提出してください。

スポット

料理教室
とき 十四日、午後一時から四時
ところ 中央公民館「鍋もの」芽生会
材料費 二百円

版画教室
とき 二十四日、午後七時三十分から、九時三十分
ところ 中央公民館(版画展打合せ会)

手芸教室
とき 二十七日、午後一時から五時
ところ 中央公民館「日本人形づくり」日村恭子先生

社会福祉事業に寄付

市内南鐙坂水落公平さん一万五千円、市内山本町五丁目村山繁子さん一万円、市内本町三丁目大島清七さん二万円 十日町群馬県人会一同千円、中条太子堂大島幸作さん五百円うど木内藤直義さん三百五十円(出稼先神奈川県から) 東京都庭野日敬氏十万円(市内菅沼出身)、昭和町一上村久美子さん千五百円、神明町関口ヲトメさん千二百円、魚之田川常角熊吉さん一万四百八十五円、昭和町一庭野ミヨノさん千円、泉町庭野貴美子さん八百五十五円、土市植木敏明さん千四百二十六円、一高校生千円、高田町一松岡晁平さん千円、山本町五加賀屋フトン店五千円、五扶の傘五千二百二十九円、ヨルト会一同五千円、下条上新田簡易保険組合代表近藤静江さん三千円、中条中学校生徒会一同四千七百二十六円、十日町合唱団一同四千六百十三円、川治地区連合婦人会一同、三千七百三十円、一市民五千円、東北電労十日町分会青年部一同五千五十六円、ボーイスカウト十日町第一団が街頭募金を行ない三万四百二十八円をそれぞれ社会福祉事務所に寄付してくださいました。

第三次長期計画

総事業費32億2千万円

市総合計画の概要

県総合開発計画の推進により魚沼地域の交通運輸体系は急速に整備される見通しであります即ち上越線の複線化並び国道一七号線の改良舗装が完了、十日町地区経済ルートの国道一一七号線の改良整備も四十五年完成を目途に急ピッチで進められており、また国道二五三号の八箇隧道の整備二五二号飛渡地内の整備など明るい見通しであります。また鉄道においても上越線の複線化に伴う飯山線の輸送力改善がすすめられ更に地方開発路線として北越北線が本年から着工が予定されております。なお加えて関越高速自動車道路の新設化等は、将来地域発展に大きな要因と基盤の確立が着々とすすめられております。これら一連の交通機関の体系の整備は従来の平面的な線の交通運輸体系から、更に立体的交通体系整備に変ろうとしております。

このような状況下から魚沼地域においても関係市町村が集まり、魚沼地域総合開発計画を策定し、県の総合計画に呼応する態勢を整えております。

このたびの十日町市総合計画は、このような計画をもとに将来の見通しの上に立って、社会状勢に即応した総合的な行政目標を定めて地方公共団体としての機能を充分に発揮し、市産業の生産性向上と市民の生活水準の向上を図り、更に当市を中心とする都市並び魚沼地域の発展に寄与しようとの意慾からも計画の策定にあたったのであります。

この計画は現況編、計画編の二つに分けてありますが作成にあたっては各種行政委員会の意見、移動市役所、市政懇談会等で出された市民の声青年会議所の「社会開発計画調査報告書」も市民の動向を知る貴重な資料として、それぞれ計画に反映するよう努力が払われています。五カ年間、即ち昭和四十二年〜四十六年度までの総事業費は約三十二億二千万円にのぼり、産業振興計画に約四十三・一％十三億八千万円、生活基盤整備計画に約二十五％八億円、教育施設整備計画に約十四・六％の四億七千万円、行政施設等整備計画に八・九％三億円、都市環境整備計画に八・四％の二億七千万円等となっております。

実施計画の内容

実施計画は前述の観点にたって、その目標達成の手段として概ね次のような事業計画が計上されております。

まず、農業面では農業構造改善事業を三地区計画いたしております。団体営土地改良事業農道三万五千㍍、用排水路七千六百七十㍍、区画整理七十五㌶、暗渠排水七十五㌶。

索道二十五カ所、揚水機十カ所、客土二十五カ所、農地造成開田事業六十㌶、溜池十五カ所辺地振興小規模土地改良百七十五カ所。

農業振興事業ではトラクター四台、タバコ乾燥施設、ホップ導入三十五㌶、栗園造成二十五㌶、桑園造成六十㌶、集団桑園二十五㌶があります。

雅蚕壮蚕の共同飼育施設のほか畜産振興では養豚に力を入れ種豚六頭、原種豚九十頭を計画乳牛導入七十五頭、和牛素牛導入百頭が計上されております。次いで林業開発として林道七千五百㍍などが計画されております。

商工振興面では中小企業共同施設の建設を含め、工場団地造成商店街形成と美化からアーケード建設千五百㍍等が計画されております。

観光と憩いの場として八ケ峰の開発、魚沼スカイライン建設が上げられております。

都市部市街地の整備として街路事業駅通り、本町西線、川治昭和町線、八幡田川原町線の改良舗装、山本高山線の舗装化等五千五百㍍が計画されております。そのほか諏訪神社裏山一帯を市民の憩いの場として十日町公園開発計画となっております。また汚水の排水路中沢川下水路をはじめ本町稲荷町下水路の改良をすすめる計画となっております。

住宅地域内区画整理として山本土地区画整理と新たに高山第二、三万坪（十万平方㍍）島一万五千坪（五万平方㍍）が計画されております。更に新規計画として雪のない市街地を目標に流雪溝整備に入ります既設水路利用四千五百㍍、新設六千㍍が計画されております。取水施設は田川の上流に求める計画でポンプアップにより市街地中央に流水されます。

生活の基盤整備事業面では国県道の整備の促進に力を入れると共に市道の改良舗装化計画をたてております。改良四万㍍、舗装一万七千六百㍍が計画されております。

市民体位の向上を期待し、市民体育館及び用具の整備とスキー場の開発城ケ丘一帯の整備を行なう計画であります。また総合グランドの建設を計画しております。

福祉面では四カ所の季節保育所の常設化が計画されております。また児童館の建設も計上されております。低所得者住宅対策として公営住宅も引続いて五十六戸設置の計画となっております。

上水道は給水人口二万八千人を対象に拡張工事がすすめられておりますが事業は完了します。

簡易水道を下条、水沢地区に実施の計画であります。

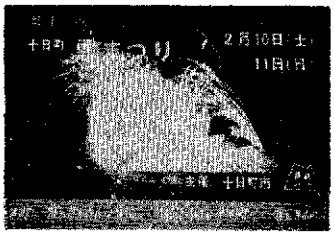
教育文化面では中学校の統合（川治、六箇）により南中学校と吉田中学校の分校統合の諸事業をはじめ校舎の新増改築、教員住宅十四、学校プール八カ所グランド整備、給食施設新増設は多年宿願の公民館本館（市民会館）の建設が計画されております。その他移動公民館の配備も計画されております。

行政施設の鉄筋四階建四千六百二十平方㍍（千四百坪）の近代的庁舎の建設をはじめ、市民の生命財産を守る消防機能の充実を図る計画となっております。総事業費は三十二億二千万円ですが、うち団体の事業費が十億四千万円占めております。

以上概要について紹介しましたが結論的には、各産業の基盤整備並び生活環境の整備をはかり昭和四十六年度における市民所得の水準を少くとも県民所得水準にまで引き上げることを目標としており、市民生活の水準のレベルアップと魅力ある産業都市十日町市の建設にあります。何卒市民のみなさんのご理解とご協力をお願い致します。

雪まつりポスターを作成

2月10・11日に予定



恒例の十九回雪まつりは二月十日（土）十一日（日）の両日賑やかに開催されます。

市ではすでに雪まつり宣伝用ポスター千五百枚を作成、受入れ準備に入りましたが、呼びもの前夜祭は担当の織物組合青年部で計画予定されており、全日本きもの女王五人による十日町のきものショーのほかアトラクションとして伊藤素道とリリオリズムエアーズ、木の実ナナとリリオ・ビーズなどが出演予定されています。【写真はできあがったポスター】

一月一日から 戸籍手数料が変わります

旧ろう十五日改正三百六十一号で戸籍手数料令の一部が改正されましたので、つぎのとおりお知らせいたします。カッコ内は改正前の手数料。

1. 戸籍、除籍等の閲覧手数料
一戸籍五十円（一回四十円）
2. 戸籍法四十八条二項（届書等）の書類の閲覧一件五十円（四十円）
3. 戸籍謄抄本
一枚五十円（四十円）
4. 戸籍証明
一件五十円（四十円）

入賞者決まる

「火の用心」の作文

市消防後援会では、防火週間行事のひとつとしてさきに市内小学校児童から〝火の用心〟の作文を募集しましたが、七十五人の応募がありこのほど審査の結果つぎのとおり入賞者を決めました。

「金　賞」
飯塚博美（十日町小三）
富沢留美子（中条小四）
大島克浩（十日町小五）
保坂美代子（鐙島小六）

「銀　賞」
吉沢令子（十日町小三）
小沢雅春（吉田小四）
鈴木美紀子（十日町小五）
丸山清子（吉田小六）

「銅　賞」
石田久美子（十日町小三）
田知花康彦（十日町小四）
大島玲子（十日町小五）
小川セツ子（十日町小六）

赤い羽根募金 目標突破

昭和四十二年度の赤い羽根共同募金は市民の皆さんのご協力により、目標額の百七十四万七千円を七・一％上回る百八十七万一千七百九十八円を募金、つぎのとおり好成績をおさめましたのでおしらせいたします。

	目標額	実績額	%
一般戸別募金	1,004,000円	878,436円	87.5%
法人募金	400,000	628,000	157.0%
大口（職域）募金	3,000	3,530	117.7%
学校募金	70,000	91,812	131.2%
歳末募金	270,000	270,020	100.0%
合計	1,747,000	1,871,798	107.1%

ことしの成人式

五月の第一日曜を予定

昭和四十三年の十日町市成人式は五月の第一日曜日を予定しております。市では一月十日現在で住民登録によって該当者の名簿作成をはじめました。

今年の該当者は昭和二十二年四月二日から昭和二十三年四月一日生まれの人です。

公民館

日常の作法と取り組む

「土曜会」川治婦人学級

―川治地区公民館―

川治婦人学級「土曜会」は山本部落の若い年令層の主婦を中心として開設され四年目を迎えました。四十二年度からは川治部落の主婦も参加し、その数も七十五名となり、二つのグループをもって学習しております。

一つは一般教養グループで、毎月第二土曜日を学習日にしております。もう一つは生花グループで毎月二回集まって勉強しております。

この土曜会の学習目標は〝主婦としての必要な作法を身につける〟ということです。

家事に、勤めに、内職にと家庭における主婦の労働量はおどろくばかりですが、その一方人間としてのみだしなみとか、日常生活のあらゆる面に必要な起居のふるまいの規制（基本的な作法）がおろそかになりがちです。いわゆる主婦として「…らしさ」を失わないためにもと、いうことで前記の目標を定め、次の学習課題を決め学習しております。

四月開講と同時に「作法全般について」講義を受けました。作法とは、時代の変遷に応じ変って行くものであるが、「前代の遺物」では決してなく、いつの時代においても必要なものであるということを感じとったと思います。

「着物のマナー」として着こなしのコツ、目的に沿った着方着付等を講義と講習とに二回に渡り実習し、つづいて「挨拶のしかた」として訪問時、吉凶時集会等における挨拶と司会のやり方等を一人一人に実際にやらせ、「贈答の作法」としては贈り物の受け渡し方、水引きのかけ方、つつみもののしかた（お金品物等）を実技指導を織り込む。「お茶のいれ方」としてお茶のたて方、飲み方を一回学び二回目は実際にたて又飲み、すこぶる楽しく大勢の人が実習しておりました。「配膳」として、料理の配列盛り方出し方を学び、「座敷の作法」として、客の迎え方、戸障子のあけたて、床の間飾りとみかた等を話しを聞き実習しかなり熱のいれた学習でした。

以上の課題を十二回にわたり学習します。しかしそれをもって回数及び内容共に充分であるとは考えません。これからもよりテーマをわかりやすく具体的にし学習して行く計画です。家庭の主婦というより社会の一員として必要な事項をあせらず欲ばらず一歩々々学んだものが自身のものとなり、それがよりよい家庭づくりのために役立つものなら、開設者側として一層協力し、学習の場の機会をどんどん作っていきたいと思っています。